

# 自由ヶ丘OYAJI倶楽部

▼住みよい自由ヶ丘をめざして活動に励むOYAJI倶楽部のみなさん



## 「住みよい自由ヶ丘」のため、 会員一致団結して頑張っています

「自由ヶ丘OYAJI倶楽部」(企画委員長:執行 勉さん)は、北多久町自由ヶ丘の子育てが終わった年齢50歳以上もしくは子どもクラブを卒業した親ら28人がメンバーです。

子どもクラブや区の活動を積極的に応援するとともに、会員相互の親睦、交流を深め、住みよいまちをめざして平成21年8月に発足。

団体の名称は、親爺(男)だけでなく女性も参加できることからローマ字でOYAJIと表現し、末尾に「I」(愛)を加えているのは、和気あいあいとした会になるようにとの思いを込めています。

地元の夏祭りや文化祭での作品披露も行っています。今年は葛飾北斎の「富嶽三十六景」の凱風快晴(通称:赤富士)をモチーフに、竹灯り壁画を製作。メンバーのみなさんは、約3週間にわたって夜7時から10時過ぎまで作業し、高さ約3メートル、幅約5メートルの色鮮やかなLED電球をあしらった舞台いっぱいの見事な作品を完成させました。9月30日に行われた観月会まで公民館で披露され、市内外から多くの来場者で賑わいました。新メンバーも随時募集しています!

問 執行 勉 企画委員長 ☎74-2009

### ●連載19● 郷土資料館で学ぶ多久の歴史

## 『多久の炭鉱と石炭展』②

相島幸雄さん撮影 「小城炭鉱があった頃」

東多久町の相島幸雄さんは、かつて山口鉱山小城炭鉱に勤務され、そのかたわら当時の様子を写真に残しておられました。「小城炭鉱があった頃」と題し、昭和31年から37年にかけて撮影された71枚の写真には、炭鉱の様子や人々の暮らしが生き生きと写し出されています。

美しい稜線を描くボタ山と炭鉱で働く人々、炭鉱長屋の前で洗い物をする女性たち、紙芝居のおじさんに駆け寄る子どもたち。苛酷な労働の中でも、笑顔があふれています。カメラを向ける相島さんの優しいまなざしが、そのまま写真にも表れているようです。

今回の展覧会では、相島さん撮影の貴重な写真を58枚展示しています。ぜひご覧ください。

▶炭鉱住宅の風景(東多久町)



### 多久市郷土資料館特別企画展

## 多久の炭鉱閉山40周年特別企画展「多久の炭鉱と石炭」

会場 / 多久市郷土資料館 2号・3号展示室

会期 / 10月5日(金)~12月5日(水)

開館時間 / 9時~16時 入館 / 無料

休館日 / 月曜日(月曜が休日の場合は開館し翌火曜休館)

■問い合わせ 多久市郷土資料館 ☎75-3002

## 市民文芸

### 短歌

《麦の芽短歌会 互選》

朝顔の咲きつきゆきて終の花

淡く小さく軒端にゆれる 川浪 信子

「ありがとう」なかなか言へず老いゆくか

同居の掬すなおであれと 本村 則子

老い母の暮らす施設は岡の上

浮雲ひとつ流れてゆきぬ 浦野 嘉恵

老い行けば一人で出来ぬことばかり

人の手借りぬこれも幸せ 本田 静香

株分けをせぬまま置きたるラッコヨウの

うす紫の花をつけたり 田淵ミチ子

### 俳句

《あざみ句会 互選》

石仏の 和顔に和む 秋彼岸

光野 正子

線香の 墓地に漂ふ 秋彼岸

川内スミ子

御仏の 香りが包む 秋の寺

中嶋 清子

夕立の 瓦にはじく 太さかな

武富りつ子

肩書きを持たぬ暮しに 秋刀魚焼く

大石ひろ女

### 川柳

《多久市川柳会 互選》

もう少し 女でいたい 曼珠沙華

大谷 和

還暦の 記念はピアス穴を空け

猪ノ口昭子

偶数の 月は嬉しい 年金日

松下 修

お月さまも 少し気になる 深い仲

井上 東子

大空を 月は孤独で 散歩する

西山 残月